



今月の初旬、ミラノの北東にある町ベルガモで修養会を行いました。

ミラノより  
渥美充代ニュースレター

## 失われた者を探すために来られた イエス

イエス・キリストの十字架を黙想する受難週、  
みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

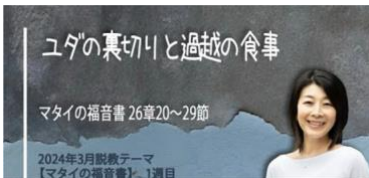
こちらミラノは、季節の変わり目で雨の多い日もありますが、街ゆく人たちの服装も軽くなり、明るい色が増え、春の訪れを感じる日々です。

いつもイタリア・ヨーロッパの日本人宣教を覚えてお祈りくださり、ご支援くださり、本当にありがとうございます。

今月は、ベルガモで一泊二日の修養会が開かれ、教会のメンバーと共に祈り、主を賛美し、礼拝をささげる濃密な時間を過ごしました。あいにく外は雨が降り続いていたのですが、ゲームや聖書クイズのレクリエーションも、勝負となると本気の韓国のみなさんの気質に刺激され大いに楽しみました。愛する神の家族と共に食事をしながら過ごす時間は嬉しく、尊い瞬間の連続です。主が豊かに祝福してくださいました。



会堂礼拝では、ザアカイ（ルカ 19：1-9）の箇所からメッセージを取り次ぎました。



動画はこちらから  
 マタイの福音書のリレーメッセージも 31 日  
 イースター礼拝で終わりを迎えます。

四旬節（受難節）の間はイエス・キリストがエルサレムに御顔を向け、十字架に進まれた旅に沿って、みことばを黙想し、メッセージの御用につきました。会堂礼拝ではイエス・キリストがエリコの町で出会う取税人ザアカイの箇所を開き、キリストの招きを喜んで受け入れた彼の姿を見て、心の貧しい者は幸いだと言われたイエスのみことばを思い起こしました。「人の子は失われた者を捜して救うために来たのです」と言われたみことばが私たちの周りでもその通り成されるように主に祈りました。オンライン礼拝では過越の食事の時の出来事、ユダの裏切りの際、最後までユダを愛し、彼がご自分のもとに帰って来ることを待ち続けたイエス・キリストの心が迫り、時にその愛に気づいていない自分自身の心がみことばの光によって照らされる思いがしました。

さて、来月はピアチェンツァ賛美教会のイム牧師が韓国滞在のため、毎週礼拝メッセージを担当することになりました。備えの時に神様が豊かに語ってくださいますように、また礼拝のための移動が守られるようにお祈りくださいますようお願いいたします。

また、今年は 5 年ぶりに夏のヨーロッパキリスト者の集いに参加することとなりました。一つの礼拝の賛美リードとメッセージを担当します。参加者の皆さんと神様をほめたたえ、神様の素晴らしさを体験する時となるようにどうぞ覚えてお祈りください。

私たちの罪のために十字架に進まれ、ご自身をささげられたイエス・キリストの愛に感謝し、神様の祝福がみなさまの上に豊かにありますようにお祈りしています。復活と再臨の主を待ち望みつつ。

お祈りください

- \* ミラノ賛美教会の共同体が主によって生まれ、守られるように
- \* みことばの学びと祈りの生活が取り分けられ、祝福されるように
- \* 霊肉共に健康で、主が必要のある場所に遣わしてくださるよう
- \* イエス・キリストに似た者と日々変えられていくように
- \* ヨーロッパキリスト者の集いのため、奉仕の備えのために

尊いささげものを感謝いたします

新口座：

三菱 UFJ 銀行 仙川支店(149)

普通預金 0803314

渥美充代さんを支える会

代表者 齋藤祐仁